

WebFOCUS インストール時の追加手順 for Windows Version 8.2.06.38

このマニュアルでは、WebFOCUS for Windows インストール時の必要な追加設定、Resource Analyzer の日本語パッチの適用、WebFOCUS の Unicode 構成、ReportCaster の Unicode 構成について説明します。

必要なトピックを選択し、作業を行ってください。

トピック

対象ユーザ

- | | |
|--|-------------------------------------|
| ☐ 通貨記号と日付の日本語表示設定 | ✓ すべてのユーザ |
| ☐ WebFOCUS の Unicode 構成 | ✓ WebFOCUS を Unicode 構成で利用するユーザ |
| ☐ ReportCaster の Unicode 構成 | ✓ ReportCaster を Unicode 環境で使用するユーザ |
| ☐ Resource Analyzer 日本語パッチの適用 | ✓ Resource Analyzer 利用ユーザ |

通貨記号と日付の日本語表示設定

通貨記号(円)の設定、日付の日本語表示設定

1. WebFOCUS Reporting Server のサービスを起動します。
2. Web コンソールにアクセスします。

ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。

http://hostname:port/

説明：

hostname

WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。

port

インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。

3. 左のメニューから[ワークスペース]を選択し、画面左に表示される[構成ファイル]を展開し、[サーバプロファイル - edasprof.prf]を右クリックし、[編集]を選択します。
4. 表示されるプロファイルの編集画面で、以下の 2 行の SET コマンドを指定し、[保存]ボタンをクリックします。

SET CURRSYMB = JPY

SET DATEOUTPUT=LOCALIZED

補足：

OS のシステムロケールが日本語に設定されている場合に WebFOCUS Reporting Server のインストール時に[システムロケールを基準に NLS 地域設定を構成]を選択すると以下の設定が自動で設定されます。

SET LANGUAGE=JAPANESE

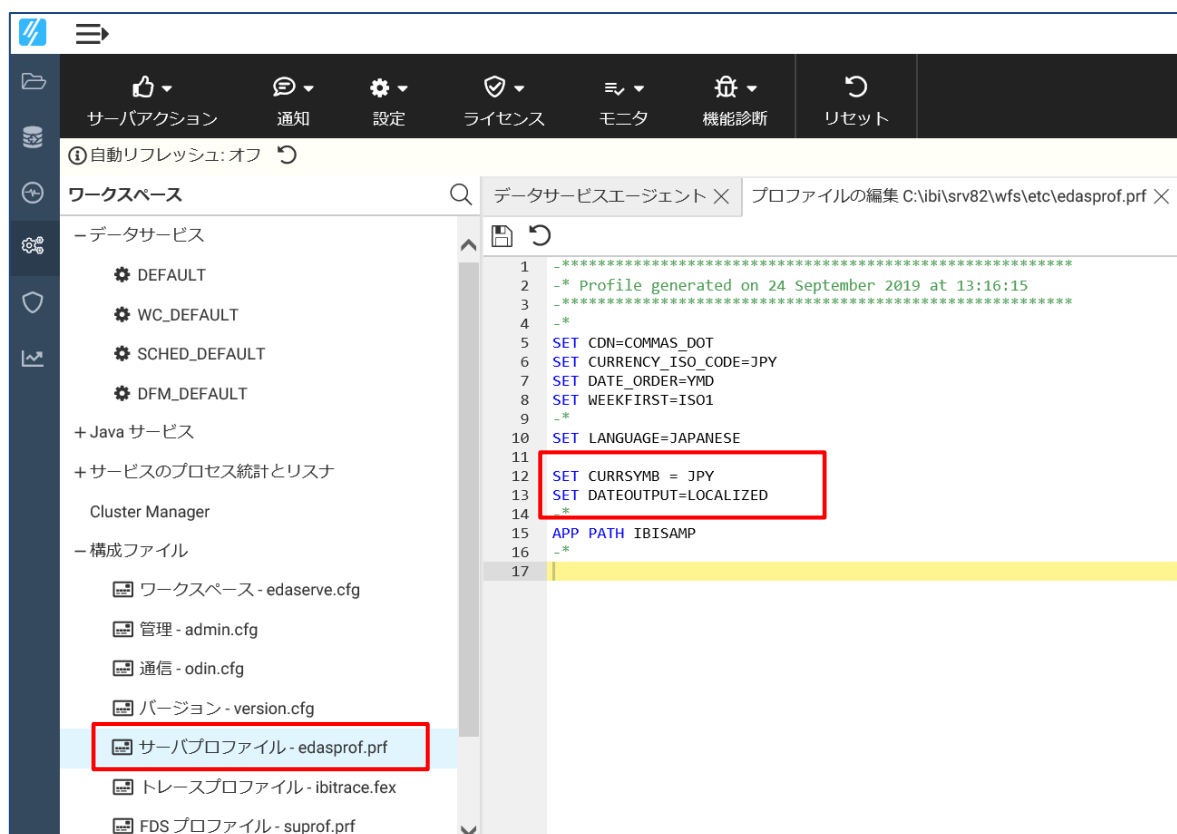
SET CDN=COMMAS_DOT

SET CURRENCY_ISO_CODE=JPY

SET DATE_ORDER=YMD

SET WEEKFIRST=ISO1

サーバプロファイル - edasprof.prf に上記の設定が無い場合は、上記の SET コマンドを指定してください。



以上で通貨記号と日付の日本語表示設定は終了です。

WebFOCUS の Unicode 構成

【事前確認】

WebFOCUS を SJIS 環境で使用する場合はこの手順は必要ありません。

WebFOCUS Reporting Server の CODE_PAGE の変更

1. Web コンソールにアクセスします。

ブラウザを起動し、次の URL にアクセスします。

http://hostname:port/

説明：

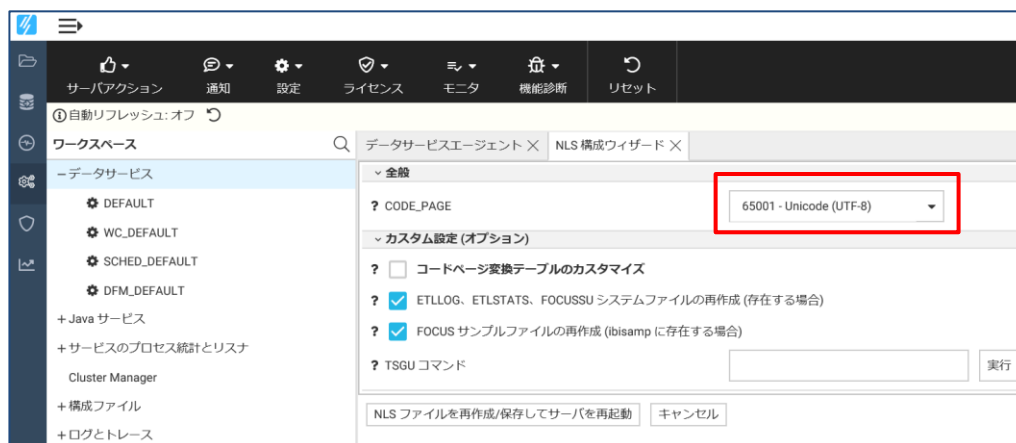
hostname

WebFOCUS Reporting Server を実行しているマシンのホスト名または IP アドレスです。

port

インストール時に指定した HTTP ポートです。デフォルトは 8121 です。

2. 左のメニューから[ワークスペース]を選択し、画面上部の [設定] - [LOCALE] - [構成ウィザード]を選択します。
3. CODE_PAGE プルダウンリストから[65001-Unicode(UTF-8)]を選択します。
4. [NLS ファイルを再作成/保存してサーバを再起動]をクリックします。



WebFOCUS Client の CODE_PAGE の変更

1. WebFOCUS 管理コンソールにアクセスします。

http://hostname:port/ibi_apps/admin

説明：

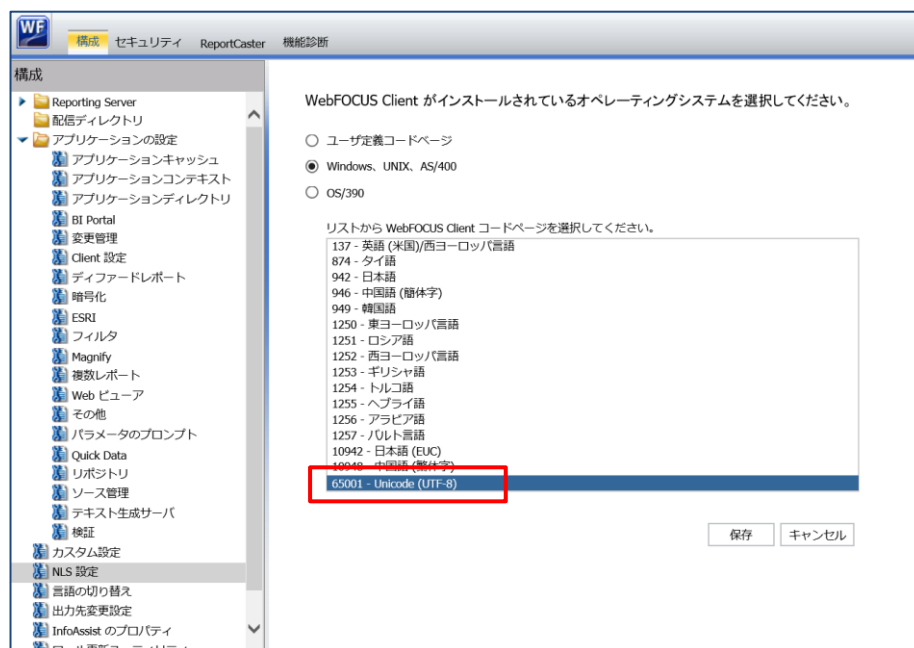
hostname:port

Web サーバまたは Application Server のホスト名および HTTP ポート番号です。

Tomcat のスタンドアロン構成では、デフォルトは hostname:8080 です。SSL を使用する必要がある場合は、「http」の代わりに「https」と入力します。

2. ログイン画面が表示されますので、管理者権限を持つユーザでログインします。
管理コンソールが開きます。
3. メニューから[アプリケーションの設定] - [NLS 設定]を選択します。
4. コードページ[65001-Unicode(UTF-8)]を選択し、[保存]をクリックします。

5. 画面右上の[キャッシュのクリア]をクリックし、[OK]をクリックします。



Tomcat の Unicode 構成

Tomcat を Unicode で起動するために以下の設定を行ってください。

注意： 以下は、WebFOCUS Client と共にインストールされた Tomcat8.5.51 での手順です。

1. [スタートメニュー] – [すべてのプログラム] – [Information Builders] [Tomcat]の[Tomcat Configuration Utility]を選択します。
2. [Java]タブを選択します。
3. [Java options:]に以下のコマンドを指定します。
`-Dfile.encoding=UTF8`
4. [適用]をクリックし、Tomcat を再起動します。

以上で WebFOCUS の Unicode 構成は終了です。

ReportCaster の Unicode 構成

【事前確認】

ReportCaster を SJIS 環境で使用する場合はこの手順は必要ありません。

Distribution Server をコマンドラインから起動するか、サービスから起動するかで設定方法が異なります。

Distribution Server をコマンドラインから起動する場合

1. drive:¥ibi¥WebFOCUS82¥ReportCaster¥bin¥schbkr.bat をテキストで開きます。

2. 以下の設定を追加します。

`-Dfile.encoding=UTF8`

指定例：

```
call .¥classpath.bat
"C:¥ibi¥WebFOCUS82¥jre¥bin¥java" -Dfile.encoding=UTF8
-Dcaster.service=false -cp "%CLASSPATH%"
ibi.broker.SCHScheduler %DSINSTALL% %CMD_LINE_ARGS%
pause
```

3. 設定を追加後、ファイルを保存して閉じます。

4. Application Server を再起動します。

5. [スタート] – [すべてのプログラム] – [Information Builders] – [WebFOCUS 82] – [ReportCaster] – [Distribution Server] – [Distribution Server の開始]を選択します。

Distribution Server をサービスから起動する場合

1. [スタート]メニューをクリックします。

2. [ファイル名を指定して実行]を選択します。

3. [regedit]と入力し[OK]をクリックします。

レジストリエディターが開きます。

4. 以下のキーを右クリックし、[修正]を選択します。

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥WOW6432Node¥InformationBuilders¥
ReportCaster¥WF82¥Parameters¥Java¥Options]

5. 以下の設定を追加し、[OK] をクリックします。

`-Dfile.encoding=UTF8`

6. Application Server を再起動します。

7. サービスを開き[WebFOCUS ReportCaster WF82]を右クリックし、[開始]を選択します。

以上で ReportCaster の Unicode 構成は終了です。

Resource Analyzer 日本語パッチの適用

【事前確認】

Resource Analyzer を使用しない場合はこの手順は必要ありません。

Resource Analyzer 用の日本語パッチは WebFOCUS Reporting Server をインストールしたディレクトリに適用します。日本語パッチを適用する前に WebFOCUS Reporting Server をインストールしたディレクトリを確認してください。

WebFOCUS Reporting Server インストールディレクトリ:

例 : C:\ibi\srv82

注意 : 日本語パッチを適用する際は、WebFOCUS Reporting Server を必ず停止してください。

パッチが含まれるインストールモジュールのディレクトリ

64bit¥Server¥patch_8206s

Resource Analyzer 日本語パッチの適用

パッチファイルの実行

1. 文字コード環境(SJIS, Unicode)に該当するパッチファイルをダブルクリックします。

(SJIS の場合) [ra_sjis.bat](#)

(Unicode の場合) [ra_utf8.bat](#)

2. 表示されるプロンプトで、WebFOCUS Reporting Server をインストールしたディレクトリを選択し、Enter キーを押します。

以上で Resource Analyzer 日本語パッチの適用は終了です